

青森県

お米の産地視察報告

秋田県

本会では、毎年稲の刈り取り前に産地視察を行っています。今年度も9月17日(木)に青森県、18日(金)に秋田県を訪問しましたのでご紹介いたします。

● 生育状況

青森県

つがるロマン(農薬節減米)

まっしぐら(慣行栽培米)

J A全農あおもりより

比較的好天に恵まれ、収量はやや良くなる見込みです。

秋田県

あきたこまち(農薬節減米)

秋田県主食集荷商業協同組合より

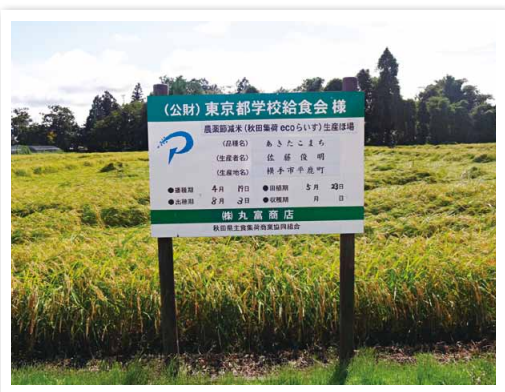
秋田県では4月に過去に例を見ない猛暑が続き、6月に雨が少なかったため生育について非常に不安がありました。8月下旬に雨が多くなり稲が急速に成長し結果的に収量は平年並みになる見込みです。

*慣行栽培米とは…通常栽培されるスーパードで一般的に販売されている米

*農薬節減米とは…農薬の使用成分回数が慣行栽培米に比べて半分以下で栽培されている米

● 農薬の使用について

農薬の使用成分回数は全国で統一されているわけではなく地域ごとに決められています。農



あきたこまち圃場



つがるロマン圃場

● 安全性の確認について

放射性物質検査は国が設定した基準値を基にそれぞれ青森県、秋田県が実施しています。残留農薬検査、DNA検査、重金



雑草がていねいに取り除かれた圃場

薬を通常の半分以下にするには多くの手間を必要とし、除草剤の量を減らすと雑草が生えてしまいます。雑草は稲の成長を阻害するので、生産者の方々は手作業で雑草を取り、害虫の発生を抑え、食味向上に日々取り組んでいます。

慣行栽培米であるまっしぐらは青森県の冷涼な気候と病気に強い特性により、農薬の使用量を抑えられています。

属検査(カドミウム)について、青森県は全農あおもり、秋田県は秋田県主食集荷商業協同組合において実施しています。本会におきましても放射性物質検査は新米供給前に実施し、重金属検査(カドミウム検査)、DNA検査、残留農薬検査、細菌検査はご利用いただいている学校から米をサンプリングして検査を実施しています。今後とも安心・安全でおいしいお米を供給してまいりますので、ぜひご利用ください。

Q & A

Q 各生産者での農薬の使用などは、どのように記録、確認しているのでしょうか？

A 各生産者では、種子の購入先から使用した肥料、農薬の種類と使用日などを「栽培管理記録表」に記録しています。「栽培管理記録表」は、青森県はJ A全農あおもり、秋田県は秋田県主食集荷商業協同組合でとりまとめた記載内容が適正なのか確認しています。